

## 2020 年度第 2 回理事会 議事録

開催日時:令和 2 年 5 月 19 日(火) 16:00~16:40

開催場所:遠隔会議により実施

出席者:(理事)森永春二(議長)、久保田光二、稲葉豊穂、漆畑晃司、岸本道明、小林裕敏、齊藤弘幸、渡邊治彦(以上、遠隔会議参加者 8 名)

事務局:桜井俊秀

委任状:石井潔、北川幹根、白崎利哉、村松克己

オブザーバー出席:新庄大輔(静岡市 ICT 推進課)、

欠 席:(監事)上田和博、吉兼正哲、小谷勇

(相談役)鈴木佐太郎

(以上、敬称略)

### 1. 開会

開会の冒頭、森永副理事長より新型コロナウイルスにまつわる社会情勢に対する感想などのコメントの後に議事に入った。

### 2. 議 事

#### (1) 報告事項

- ① 退会報告 日興通信(株)静岡支社 5 月 18 日付け (退会理由:新型コロナウイルスによる景気悪化のため)

事務局長が経緯を報告し、退会理由の説明をして了解を得た。

#### (2) 協議事項

##### ① 2020 年度通常総会開催方法確認の件

- 1) 第 1 回理事会(4 月 21 日)における協議ならびにその後の理事宛のメールによる検討により、総会は予定通り 5 月 29 日(金)15:00 から開催することとした。予め会員宛に総会開催通知および「議案に対する表決表」、「委任状」を送付し、議案ならびに関連書類を SIIA ウェブサイト「総会用書庫」に誘導することになった。
- 2) 書面表決は、それを受け取った会員が議題ごとに賛否あるいは委任する旨を記入し事務局に返送した結果をもって採決する(回答期限 5 月 27 日)。

事務局長からの説明に 2 点確認があった他は異議は無く了解された。

② 各部会構成メンバーの留任の件

- 1) 基本的に昨年度を踏襲していただき、次年度以降に向け部会員の拡充策も含め検討していく。
- 2) 会社の事情などでやむを得ない場合を除き、また増員は妨げない

事務局長からの説明と依頼に特段の異議はなく了承された。

③ 遠隔会議用 SIIA 公式ツール選択の件

- ・「Zoom」では、セキュリティの問題によりSIIAでも使用できない企業がある
- ・一本化には必要はないが、理事会、部会単位では統一も必要となる
- ・会員企業から「CISCO Webex」採用の提案があり、使い勝手は Zoom 同等で、コスト面でも採用は可能
- ・会員各社から多様な提案を受けることも必要

協議の結果、SIIA 事務局経費予算から、Webex のアカウント(1個)を調達し、次回の理事会をはじめ、各社のセキュリティー規程をクリアする体制を設けることが承認された。

但し、各社が「ホスト」として会議など招集(招待)する場合は、各社のツールを使うことに制約をかけるものではなく、しばらくは複数のツールが複合して使われていくことを許容することになる。

④ その他

- ・6月理事会の開催方法決定の件  
少なくとも6月までは、引き続き遠隔会議とすることです了承を得た。

(3) 審議事項

- ① 2020 年度通常総会開催方法承認の件  
(2)協議事項①の協議を経て、承認された。

(4) 連絡事項

次回理事会:6月23日(火) 16:00~17:00  
Webexによる遠隔会議(未定)

《Zooma 会議動画議事録》

<https://youtu.be/1zJXr7WMR30>

SII 理事会資料 1

SIIA 通常総会までの理事会開催経緯

2020 年

- 4 月 21 日 遠隔会議開催
- 4 月 27 日 理事役員宛に総会議案をメール送付(回答期限 4 月 30 日)
- 4 月 30 日 総会議案に対し異議なし
- 5 月 1 日 理事役員宛に定款改訂案をメール送付(回答期限 5 月 11 日)
- 5 月 11 日 定款改訂案に対し、上田監事から微細修正の指摘の他は異議なし
- 5 月 19 日 AM 石理事長の総会合挨拶動画取材(SIIA ウェブサイト上に掲載)
- 5 月 19 日 PM 第 2 回理事会開催
- 5 月 29 日 通常総会を書面表決方式により、静岡商工会議所5階ホールで開催

## 「Web 会議システム」導入の提案

事務局 桜井俊秀

既に、2020 年度に入ってから、SIIA理事会においても新型コロナウイルス感染症予防対策として、遠隔会議システム「Zoom meets」(無償版)を採用して会議を行っている。

ここで問題なのが、セキュリティの懸念からZoomの使用を禁じて(自社がホストにならず携帯端末などでの参加は認める等、限定的な措置も含む)いる会員企業もあり、理事会、部会、といった全員参加が求められる会合での使用に制約が生じている。

一方、現在の世の中では、企業、公的機関、教育機関をはじめ、個人のツールとしても急速に広まりつつある。そこでSIIAとしても、情報に関わる団体として率先して活用する中でその内容を習熟し、そのうえで長短所やリスクあるいはその回避方法などについて先行して学習したことを地域に広め、伝える立場にあることを自認しなければならない。

以上により、理事会あるいは部会での活用を励行し、そのために、安全でコスト負担に耐えられる範囲で全員が参加可能なツールを選択し、一本化までは行かないまでも、「業務用ツール」として推奨することを提案する。

既に、人材育成研修部会では、先行して遠隔会議を始めており、人材開拓推進部会でも現在ツール選択の検討に入ったところである。

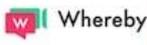
理事会としては、会員企業宛に「遠隔会議ツールの提案」を公募し、そこから最適なツールを採択する必要もあるが、まずは実験的に、理事会や部会において試行することで、早急に使用方法や使い勝手等について体験、学習を経て、外部にその内容を伝える立場になることが今我々に求められていることと思われる

現在、本年度の講演会やセミナー、講座などの実施可能性が見えない中で、20～50名程度が参加するセミナーや講座は、講師がそれを認めれば遠隔会議システムにより質疑応答も含め実施は十分可能であり、「コロナ後」を見通しても有効な手段として定着する可能性も大きく、ここはいち早く着手すべきものとする。今では、このようなウェブを介したセミナーを「ウェビナー」と称している。

一例を挙げれば、前年度提案した、「我が社の一押し」のような、各社代表からのメッセージや昨年度も講演をお願いした常葉大学小豆川教授の「テレワークセミナー」、静岡理工科大学田村特任講師による「ドローン向けソフトウェア開発の現状」などを「ウェビナー形式」での開催検討を始めた。

については、理事会においても是非遠隔会議ツール採用の検討をいただきたい。

## 遠隔会議ツール比較表

	1	2	3	4	5	6
	 Lite FreshVoice	 Calling	 LoopGate	 Webex Meetings	 Zoom	 Whereby
アプリ インストール	 不要	 不要	 機材接続が必要	 不要	 不要	 不要
アカウント 登録	 不要	 不要	 不要	 ホストは必要	 ホストは必要	 ホストは必要
同時接続人数	 5人	 30人	 100人	 1000人	 100人	 4人
セキュリティ	 暗号化/セキュア回線	 通信暗号化	 通信暗号化	 通信暗号化	 固定URL使い回し	 固定URL使い回し
通話時間制限	 無制限	 無制限	 無制限	 24時間	 40分まで	 無制限

出展: 起業 LOG

<https://kigyolog.com/service.php?id=13>

### <検討ツール>

4. CISCO WebEX:
5. Zoom Business: セキュリティ 2020/4 に改善 有償(Pro 以上であれば時間制限解除)

上記の比較表から、100名程度までの参加可能で、セキュリティ等を勘案した場合、CISCO WebEXが有力と思われる。

費用については、オープン価格のため直接比較はできないが、Zoom で2,000円/月～WebEXで、5,000円/月程度となっている。

静岡情報産業協会 2020 年度通常総会理事長挨拶

SIIA 理事長 石井 潔

静岡情報産業協会会員の皆様こんにちは。本協会の理事長を務めております静岡大学学長の石井と申します。今年度はコロナ・ウィルス感染防止のため、本協会と致しましても多数の参加者による対面方式での会議の開催を控えており、会員の皆様と直接お目にかかる機会を持つことができず、まことに残念です。2020 年度通常総会に際しての私からのご挨拶も映像を通してという形になりますが、失礼の段、どうかお許し下さい。

さて本協会は本年度 1990 年の創立以来、30 周年という記念すべき年を迎え、改めて創立の精神に立ち戻って協会としての理念を再確認することを求められております。本協会は、静岡地区における情報産業の育成強化と産業界の情報化を促進し、あわせて、会員相互の情報交換を図ることによって、地域経済の発展と地域の活性化に寄与することを目的として設立され、「人材育成・教育研修」、「ビジネス・マッチング」、「IT 企業の人材確保」を3つの柱として活動してまいりました。このような本協会の活動は、AI やビッグデータの活用などに象徴される情報技術を基軸とする Society 5.0 実現に向けた国をあげての取り組みの強化や昨今のコロナ禍の下でのオンラインでの仕事や学習推進の重要性の再認識といった新たな状況の下でますます大きな意義を有するものとなっております。

静岡大学と致しましても、1996 年に設置しました情報学部を中心に情報分野での教育・研究及び産学連携の推進には大いに力を入れており、特に本協会の活動の柱の一つである「人材育成・教育研修」の面では「地域 ICT 企業の地力向上のための技術研修事業」に対して例年講師派遣という形でご協力させていただいております。また今後 2022 年度を目途に計画しております浜松医科大学との間での法人統合・大学再編のなかでは新たに医学分野における診断・治療へのビッグデータの活用など新たな情報技術の可能性の拡大にも挑戦して行くこととしておりますので、これらの未開拓の領域も含め、本協会の会員企業の皆様とのより幅広い連携を進めることができるものと期待しております。皆様が日々の企業活動のなかで培って来られた「現場の知恵」を是非我々大学関係者に対してもご提供いただき、大学における教育・研究の成果と社会的ニーズのマッチングにお力をお貸しくださるよう心よりお願い申し上げます。

最後に、記念すべき年を迎えた本協会及び各会員企業の皆様の更なるご発展をお祈りして、私からのご挨拶と致します。本日は誠にありがとうございました。